

press release

**HPAM**  
Hiroshima Prefectural  
Art Museum  
Collection 2015  
コレクション2015

戦争と  
平和展  
開催  
記念展示



平成27年  
(2015) 7.4(土) — 9.27(日)

《草花蒔絵螺鈿書見台》桃山時代～江戸時代初期・高34.0幅32.3・木/漆/蒔絵/螺鈿

開館時間: 9:00 - 17:00

※金曜日は20:00まで開館

※入館は閉館の30分前まで

休館日: 月曜日(特別展会期中、祝日及び振替休日は開館)

入館料: 一般 510(410)円、大学生 310(250)円

高校生以下無料

縮景園との共通券: 一般 610円、大学生350円

※( )内は20名以上の団体



- JR広島駅より約1km
- 広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぷる〜ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)



名勝「縮景園」とともに歩む アートの杜

**広島県立美術館**

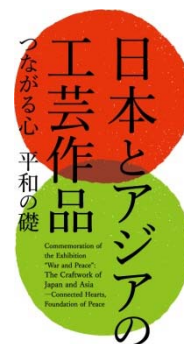
Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22 TEL (082)221-6246

<http://www.hpam.jp/>

FAX (082)223-1444

# press release



## 【概要】

当館は「日本とアジアの工芸作品」を作品収集の1つの柱としています。工芸作品は、様々な生活の場面を潤して集う人々の心を繋ぎ、遠く時空を離れていてもその意匠には「平安」や「繁栄」などの願いが共通して認められ、また、商品や贈り物として流通して人・文化・経済・技術の交流を促進してきました。広島県では「創り出す平和」の理念のもと、戦争のない平和な世界を構築するための積極策が講じられています。そうしたなか、文化交流は相互理解や相互尊重を育む上での礎と言えるでしょう。文化により世界が繋がっていること、文化に世界を繋ぐ力があることは、人々の願いを身近に反映し、国境を越えて流通してきた工芸作品に如実に表れていると感じていただければ幸いです。

会場:2階 4室

展示総数:85点(展示替えあり(前期~8月24日、後期8月25日~))



《草花蒔絵螺鈿書見台》桃山時代~江戸時代初期  
高34.0幅32.3 木/漆/蒔絵/螺鈿

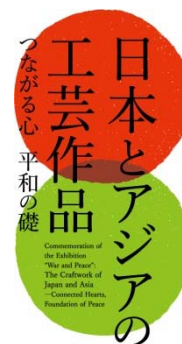
## 【内容紹介】

### I 国境を越え、人々を魅了した工芸作品

近世以前の日本にも、飛鳥・奈良時代におけるシルクロードを通じた異文化の受容や、大航海時代における西欧文化との遭遇などの国際化現象があり、彼我の文化への関心・憧憬が生まれ、文化・人・経済・技術の交流が促進されました。ここではそうした事例を示す、飛鳥・奈良時代に渡来した西域起源のデザイン、大航海時代以降流通が活発化した日本の南蛮様式の漆芸品や柿右衛門様式の伊万里焼、インド更紗などを紹介します。



《生命の樹文更紗》1770年頃  
インド/コロマンデル海岸  
310.0×219.0 木綿/手描媒染防染(前期展示)



## II 時空を超えてつながる心・デザイン

祖先崇拝、子孫繁栄、平安無事、健康と長寿など、遠く時空を離れていても人々の心や願いは共通しています。そして、生活に身近な工芸作品の装飾にこれらの心や願いを、自然や動植物に象徴的に反映させて造形表現するという行為が共通して見られ、表象としてのモチーフにも類似性が見出される場合が多々あり、さらに深く心のつながりを実感することができます。ここでは、遠く離れた中央アジアの工芸作品に表された心や願いとその表現法、関連する風習が私たちといかに共通しているかを感じていただければ幸いです。



《花嫁用頭飾り》19世紀前半  
トルクメニスタン  
幅33.0長22.0 銀/金鍍金/カーネリアン

## III くつろぎの場、集う人々の心をつなぎ、いやす品々

ゲームや食事、茶会、遊興などは人々の出会いや親交を仲介し、活性化する場面。そこには楽しいひと時を過ごすためのエチケットが自然に生まれ、工芸作品はその場を演出します。特に、日本独特の文化「茶の湯」にはそれらのことが顕著に現れているように思います。主客が同座して相互に関わる中でその場を成り立たせる「一座建立」、一生に一度しか会えないと思って誠意を尽くす「一期一会」、身分の上下に関わらず茶席では誰もが平等であるという「一視同仁」などの茶会の理念は、現代の対人関係にも広く適用できるのではないのでしょうか。そして、その成立要件として「侘び」の心、つまり「慎み、奢らない」という心構えが基本に据えられているのです。ここでは人々が集う場を彩る工芸品を取り上げ、工芸品の持つ人々の心を和らげ、繋ぐ力に注目してみたいと思います。



《高盛絵四季之花囊》明治25(1892)年  
三代金城一國齋  
高6.3 径5.8 漆/高盛絵



《韓国手茶盃》平成8(1996)年  
鯉江良二  
15.9×15.9× 高9.0 陶器



# press release



## 【関連イベント】

※都合により展示内容やイベント内容に変更が生じる場合があります。

### 友の会ボランティアガイド

当館友の会ボランティアガイドが、HPAMコレクション展についてわかりやすく解説します。

日 時: 平日14:00~/土日祝11:00~、14:00~(1時間程度)

場 所: 2階展示室

参加料: 無料

※要入館券(高校生以下無料)、申込不要

※ただし、7/12 14:00~、9/20 11:00~・14:00~は休み

※毎月第4土曜日11:00~は、小学校及び特別支援学校小学部第5・6学年の児童と保護者の皆様を対象に、“親子ギャラリートーク”として実施します。

### 学芸員トーク「作品から伝わるメッセージ」

担当学芸員が展示作品と展示趣旨を解説します。

日時: 8月14日(金)17:00~

会場: 2階 4室

解説: 宮本真希子(当館学芸員)

※要入館券(高校生以下無料)、申込不要

### コレクションを描こう♪スペシャル「平和ってどんなこと? 作品から感じてみよう」

本展と「広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展」を鑑賞後、平和を伝えるためのアイデアスケッチを作成します。

日時: 8月15日(土)10:00~12:00

受付: 2階ロビー 場所: 2階展示室

料金: 500円(同伴の保護者は1名まで無料、2名から1名あたり500円)

対象: 4歳~中学生まで

定員: 20名(先着順)

講師: 山本志帆(日本画家)、宮本真希子・山下寿水(当館学芸員)

申込方法: お電話にて当館までお申込みください。ワークショップ名、参加者名(保護者が付き添う場合は保護者名も)、年齢(こどものみ)、電話番号をお伺いします。

※要事前申込、入館券不要 ※未就学児の方には保護者の同伴をお願いいたします。

---

## 【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。ご了承ください。

問い合わせ先

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail. Ke.yamamoto@nomura-g.jp (山本宛)

担当 学芸課 宮本真希子

事業推進課 山本恵子